

令和6年度

福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート

交流推進

森林保全
支援

地域振興
支援

環境対策
支援

広報・
啓発

大分県日田市 椿ヶ鼻水源の森づくり

コップ
3杯のうち1杯は
筑後川の水だよ



福岡都市圏の水道水の約1/3は、
筑後川の水です。

流域連携基金キャラクター「ちっこりん」

ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

現在260万を超える人々が暮らしている福岡都市圏には、大きな川がないなど、地理的に水資源に恵まれておらず、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1は筑後川に頼っています。圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって保たれています。

このため、当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆様と交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、「流域連携基金事業」を行っています。

近年、筑後川流域及び水源地域では、毎年のように大雨による被害を受けていますが、昨年は、渇水によりダムの貯水率が約30%台まで低下し、24年ぶりに筑後川からの取水制限が実施されるなど、大変厳しい状況となりました。水源の大切さを改めて認識するとともに、日頃から、筑後川の環境を大切に守り、貴重な水源を育てていただいている住民の皆様に対して、感謝の気持ちを新たにしています。

福岡都市圏の住民の皆様には、水資源が限りあるものということを再認識し、これからも筑後川のめぐみへの感謝を忘れずに、水を大切に使うとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持って、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

今後とも筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様のご理解となお一層のご協力をいただきますようお願いいたします。

令和7年3月

福岡都市圏広域行政事業組合

管理者 高島 宗一郎



目次

交流推進事業

水の姉妹校形成促進事業	2P
かっぱリング事業	3P
筑後川のめぐみフェスティバル2024	5P

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業	6P
“梧ヶ鼻”水源の森づくり	7P
200海里の森づくり植樹交流会	7P
大山ダム水源地域上下流交流事業	7P

地域振興支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー2024	8P
水源地公共研修施設利用助成	10P

環境対策支援事業

有明海クリーンアップ作戦	10P
筑後川河川美化「ノーポイ」運動	10P
ひと山まるごとガーデニング	10P
小石原川・佐田川ノーポイ運動	10P
環境対策支援補助金交付団体	11P

広報・啓発・その他

福岡都市圏「水」キャンペーン2024	12P
ありがとう筑後川シール	13P
流域連携基金審議会	14P
流域連携基金条例・施行規則	14P
流域連携基金イメージソング「筑後川にて」	裏表紙
令和6年度流域連携基金事業実施場所	裏表紙

水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する学習・交流を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

福岡市立北崎小学校 — 朝倉市立秋月小学校

○実施日／①令和6年9月27日（金） ②10月30日（水） ③11月28日（木）

○実施場所／①福岡市立北崎小学校及びその周辺

②上秋月コミュニティセンター・小石原川ダム・小石原伝統産業会館

③朝倉市立秋月小学校・秋月博物館・和紙工房

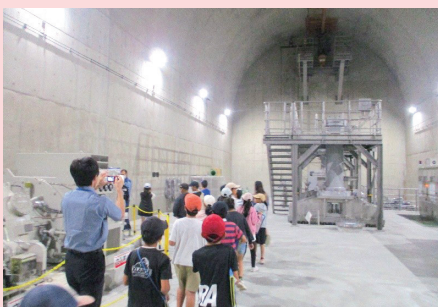
○参加生徒数／北崎小 4年生 9名、5年生16名、6年生16名 合計41名

秋月小 4年生19名、5年生14名、6年生16名 合計49名

①両校の5年生は、北崎小学校とその周辺にて、魚釣りやシュノーケリング体験を行い、親睦を深めました。

②両校の4年生は、ダムの建設過程や福岡県の水源地、伝統産業について学習し、施設見学等しながら交流を深めました。

③両校の6年生は、秋月博物館の見学や和紙工房での紙すき体験、秋月小学校での藍染体験を通して交流を行いました。



福岡市立能古小学校 — 日田市立大山小学校

○実施日／①令和6年7月12日（金） ②10月2日（水）

○実施場所／①福岡市立能古小学校 ②大分県日田市立大山小学校

○参加者数／能古小 4年生19名、大山小 4年生23名

①7月12日、大山小学校の児童が能古小学校を訪問しました。筑後川と福岡市の水道の関わりについて一緒に勉強した後、海遊びや能古島の食材を使った昼食を食べるなどして交流を深めました。



②10月2日、能古小学校の児童が大山小学校を訪れ、姉妹校児童と3か月ぶりに再会しました。

現地では、松原ダム見学、遊覧船体験をしました。その後、「おすそわけ野菜レストラン松原」にて昼食をとり、充実した一日になりました。



かっぱリング事業（筑紫地域）

第52回天拝山ロードレース大会

○開催日／令和6年11月24日（日）
 ○実施場所／筑紫野市総合公園（山口調整池周回コース）
 ○参加者／福岡都市圏474名（福岡市214名、筑紫地域223名、糟屋地域3名、宗像地域33名、糸島市1名）
 筑後川流域101名（福岡県85名、佐賀県16名）・その他80名 合計655名

福岡都市圏と筑後川流域のランナーがマラソン大会を通じて交流を深めました。また、大会当日はランナー及び来場者へかっぱリング事業のPRを実施しました。

参加者の声

＜筑紫野南中学校 Kさん＞

ロードレース大会を通じ、福岡地域は大きな川がないため、福岡地域で使う3分の1を筑後川から取水していることを知りました。自分が普段使っている水がどこからきているか考えたことがなかったので、とても勉強になりました。これからは水を大切にしたいと思います。

＜筑邦西中学校 Eさん＞

大会に出て、福岡市周辺地域で使っている水の3分の1は筑後川から取っていることを知りました。私は久留米市に住んでおり、筑後川の水の恩恵などについては、これまで学習をしてきました。ですが、筑後川の水が久留米市だけではなく、いろんな地域で使われているのを初めて知ることができ、勉強になりました。



担当者の声

筑紫野市 文化・スポーツ振興課 西田 篤史さん

私自身、今回大会を通じて、かっぱリング事業のことや福岡都市圏で使う水の3分の1を筑後川から取水していることを知りました。参加者・来場者については、大会パンフレットへの事業PR記事の掲載や、大会の売店ブースでPRを実施したことで効果的に事業PRができたと思っています。

今大会の会場である山口調整池は、筑後川から福岡都市圏への水供給のため導水路の途中に設けられ、水を安定供給するための施設です。大会参加者も福岡都市圏及び筑後川流域双方からあったため、かっぱリング事業の目的である「福岡都市圏と筑後川流域の相互理解促進のため住民同士が交流する」には最もふさわしい行事であると感じました。

かっぱリング事業（糟屋地域）

第27回糟屋地区中学生地域交流サッカー新人大会

○開催日／令和6年8月24日（土）・25日（日）
 ○実施場所／糟屋地域9会場（メイン会場：新宮中学校）
 ○参加者／45チーム 約900名（糟屋地域17チーム、筑後川流域、その他地域28チーム）

糟屋地域では毎年、中学生のサッカー大会を開催しています。今年は、筑後川流域から招待した9チームを各会場に1チームずつ割り振り、総当たり方式での試合を行いました。サッカーの試合を通じて、筑後川流域と福岡都市圏のチームで交流を深めることができました。

参加者の声

＜糟屋地域（新宮町）Mさん＞

大会を通して、いつも使っている水の3分の1が筑後川から来ていることを知り、筑後川への感謝と節水を心掛けたいと思いました。普段あまり試合をしない筑後川流域のチームと試合ができ、とてもいい経験になりました。

＜筑後川流域（久留米市）Sさん＞

私は大会を通して水の大切さを学びました。そして糟屋地区を含む福岡都市圏でも筑後川の水が使われていることを知りました。私達の家にある筑後川の水があんなに遠くまで届いているなんて知りませんでした。今回の大会のおかげで近くにはないチームと試合ができとても嬉しかったです。これからもいろいろなチームと交流を深めたいと思いました。



担当者の声

新宮町上下水道課 橋本 達樹さん

中学生にとって夏休み終盤の時期に開催された今回のかっぱリングサッカー大会は、夏休み中の練習の成果を発揮できる絶好の機会だったと思います。まだまだ暑さも厳しい2日間でしたが、一生懸命にボールを追いかける選手の姿がとても格好良く見えました。

新宮町内では2つの会場で行われ、1日目はメイン会場である新宮中学校で、2日目は新宮東中学校で「かっぱリング」の趣旨説明を行い、福岡都市圏で使用されている水の3分の1が筑後川から来ているということを大会参加者にお伝えしました。また両中学校では、筑後川の恵みで作られた有明のりの配布も行いました。

「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域（筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市）に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業（福岡都市圏筑後川流域交流推進事業）を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪（リング）を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」（2つのものの組合せ）を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業（宗像地域）

宗像地区・大山町こども交流事業 ～かっぱリング2024～

- 開催日／令和6年9月7日（土）
- 実施場所／津屋崎千軒なごみ（福岡県福津市）
- 参加者／宗像地域16名、大分県日田市大山町12名、合計28名

都市圏共通の水源地域である日田市大山町の子どもたちが、宗像地域の子もたちと、交流しました。午前は、福岡都市圏と筑後川の水事情について学習し、海岸清掃を行った後、海岸で拾ったものを使用したワークショップが開かれました。午後は、廃棄プラスチックのリサイクル体験を通して交流し、環境問題について理解を深めました。



参加者の声

<宗像地域>

海に流れるゴミは80%が陸からのゴミであることを学びました。友達ができて嬉しかったし、リサイクルしたプラスチックを使用したタイルアートやキーホルダー作りが楽しかったです。

<大山町>

環境の大事さを学びました。プラスチックは、工夫すれば再利用できることが分かりました。

担当者の声

宗像地区事務組合

ワークショップ等を通して両地域児童の交流を深め、有意義な時間を過ごすことができていたと思います。また、筑後川の水が両地域に関係していること、水とその環境を守っていく必要があることを学んでもらえたはずです。



かっぱリング事業（糸島市）

第25回糸島市・日田市上津江町 「うみ」の交流会

- 開催日／令和6年7月21日（日）
- 実施場所／初音旅館（福岡県糸島市）
- 参加者／糸島市58名、大分県日田市上津江町8名、スタッフ23名 合計89名

日田市上津江町の児童を福岡県糸島市に招き、「うみ」の交流会を実施しました。当日は天候にも恵まれ、地引網体験やBBQ、海水浴を通して交流を深めました。

参加者の声

<糸島市 Nさん>

昔、水不足で断水の時間がとても長かったことを初めて知りました。筑後川から来ている水道のおかげでプールを楽しむことができていて、好きな時に水を飲むこともできて、水のむだ使いはしてはいけないと思いました。地引網も海水浴も生まれて初めての体験だったのでとても楽しかったです。

担当者の声

糸島市生活環境部水道課 大賀 功二さん

糸島市児童と日田市上津江町児童が自然交流をとおして学ぶことを体験することができ、この交流を通して得たものを、今後の学習の一つに役立てていただければ、ありがたいです。今回の事業を通して上津江と糸島の繋がりを断ち切ることなく地域間交流を図ることができ、有意義なものとなったと思います。最後に、参加者の皆様、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



筑後川のめぐみフェスティバル2024

福岡都市圏で使用される水道水の約3分の1は筑後川の水であることを福岡都市圏住民に周知し、筑後川のめぐみへの「感謝」の気持ちを醸成するとともに、筑後川流域市町村との相互理解を推進するため、フェスティバルを開催しました。

本フェスティバルでは、筑後川流域市町村の特産品販売や、伝統芸能を披露するステージイベントなどを行い、多くの来場客でにぎわいました。

○開催日／令和6年10月19日（土）・20日（日）
○実施場所／福岡市役所西側ふれあい広場
○参加者／1日目 2,678人 2日目 6,005人 合計8,683人



1. オープニング

筑後川流域のご当地キャラクターや観光大使、流域連携基金イメージキャラクター「ちっこりん」が、フェスティバル開会を祝して鏡割りを行いました。



2. 筑後川流域交流物産展

筑後川流域市町村からは18市町村、52事業者が出展しました。筑後川流域及び水源地域の魅力あふれる特産品が並び、来場客で賑わいました。



3. 水の啓発コーナー

①水道水、②ミネラルウォーター、③海水淡水化水を当てる「利き水コーナー」や、ダム模型やパネルの展示コーナーなどが出展し、普段何気なく使っている「水」のありがたさ、水道水の安全さ、治水・利水に関する取り組みなどの広報啓発が行われました。



4. 観光 PR ステージ・物産品抽選会・Live 中継リポート

筑後川流域の14市町村がステージ上で観光PRを行い、場内で物産品を購入した来場者に賞品があたる抽選会を行いました。Live中継では筑後川流域から生中継リポートするとともに、リポーターが会場内を中継し、ステージ前モニターにて「水の大切さ」と流域の魅力を情報発信し、来場者の回遊促進を図りました。

また、ステージ前モニターでは、筑後川流域市町村のPRビデオやCMを上映しました。



5. ステージパフォーマンス

筑後川流域市町村の迫力ある和太鼓演舞や、アーティストによるステージパフォーマンスが行われました。



水源林整備促進支援事業

都市圏の水源ダムである大山ダム、合所ダム集水区域内の水源林保全のため、日田市、うきは市と共同で整備を行いました。

【事業実績】

・日田市	再造林	9.91ha
	路網整備	3,210m
・うきは市	下刈	50.12ha



大山ダム（大分県日田市）



合所ダム（福岡県うきは市）

“椿ヶ鼻”水源の森づくり

都市圏の水源ダムである「大山ダム」がある日田市にて、福岡都市圏と日田市の高校生・大学生等の若者が、「大山ダム」の見学やダム水源林の保全活動の一環として、枝打ち作業を行いました。

参加した学生たちは、枝打ち作業後、昼食のバーベキューなどを通して、親睦を深めました。

○主 催／“椿ヶ鼻”水源の森づくり実行委員会

○実 施 日／令和6年9月21日（土） ○実施場所／大分県日田市：前津江町（枝打ち体験）・大山町（大山ダム見学）

○参加者数／福岡都市圏（高校生・大学生・引率教諭）13名、日田市（高校生・引率教諭）11名 合計24名



200海里の森づくり 植樹交流会

日田市中津江村にて開催された植樹交流会に、福岡都市圏から宗像市、糸島市の住民が参加しました。参加者は、筑後川の水を育む水源林を守り育てるため、地元の方々と一緒に、サクラ・モミジの苗木を植樹しました。

植樹後は、同じく中津江村にあり、かつて東洋一の金山といわれた「鯛生金山」を見学・散策しました。

○主 催／200海里の森づくり実行委員会 ○実 施 日／令和6年11月16日（土）

○実施場所／大分県日田市中津江村：鯛生スポーツセンター（植樹会場）、鯛生金山（散策）

○参加者数／宗像市35名、糸島市19名 合計54名



大山ダム水源地域上下流交流事業 シイタケ駒打ち体験交流会

大分県日田市大山町にて開催された「大山ダム水源地域上下流交流事業（シイタケ駒打ち体験交流会）」に、福岡都市圏から糟屋郡志免町の住民が参加しました。

参加者は、ダムの見学後、田来原美しい森づくり公園にて、地元住民と一緒に、水源林保全で生じた間伐木材を活用したシイタケの駒打ちを体験しました。

○主 催／大山ダム水源地域上下流交流事業実行委員会 ○実 施 日／令和7年2月22日（土）

○実施場所／大分県日田市大山町：大山ダム・田来原美しい森づくり公園

○参加者数／志免町27名



○合所ダム水源の森を守る森林セラピー（台風のため中止）

○水郷ひたの森づくり（台風のため中止）

令和6年8月31日（土） 応募者325人から30名が参加予定

令和6年11月2日（土） 応募者157人から60名が参加予定

筑後川・川の駅スタンプラリー2024

○実施期間／令和6年7月12日（金）～11月22日（金）
○実施場所／筑後川流域に点在する「川の駅（※）45カ所」（福岡県・大分県・熊本県・佐賀県）
※川の近くに所在する、または川に関する施設で、トイレや休憩場所、地域情報を提供し、人と人の出会いを促進する空間。

川の駅に設置されているスタンプを5個以上（※）集め、応募した方の中から抽選で100名に「筑後川ブランド大会」に出品された賞品を贈呈。
※スタンプ5個につき1口とし、1人最大3口（スタンプ15個分）まで応募可能。

※スタンプラリー用紙抜粋



【表面・裏面】

郵便はがき

8
1
0
8
6
2
0

お手数ですが
切手をお貼り
ください

川の駅スタンプラリー

応募用紙

福岡市中央区天神 1-8-1 福岡市役所内

福岡都市圏広域行政事業組合事務局

【川】の駅スタンプラリー担当 宛

福岡都市圏の水道水の約3分の1は「筑後川」の水です

福岡都市圏は、人口が多く、たくさんの水が必要ですが、大きな川がないため地理的に水資源に恵まれていません。

たびたび洪水に見舞われ、昭和53年の「福岡大洪水」では、287日間の給水制限があり給水車が出勤しました。平成6年にも洪水による給水制限があります。

そこで…
ダムを作ったり、海水から飲み水をつくる他に、筑後川から水をもっていきます。

昭和53年
水不足の時の
給水車

昭和53年
水不足の時の
給水車

昭和53年
水不足の時の
給水車による
給水状況

かつて、水が乏しく、福岡市の恩恵と筑後川に感謝し、水を大切に！

筑後川のめぐみフェスティバル2024
日程 令和6年 10月19日(土)・20日(日) 全場無料
福岡市役所西園3・3の1広場 福岡市中央区天神1丁目1番1号

お問合せ 福岡都市圏広域行政事業組合事務局 TEL: 092-733-5004
受付時間 10:00~17:00 (土日・祝日、年末年始休業日を除く) FAX: 092-733-5005 E-mail: fukukokatoshien@nifty.com

筑後川の駅スタンプラリー 2024

筑後川流域とその水源地を訪ね、魅力を発見しよう!

開催期間 **令和6年 7/12金 ▶ 11/22金**
(応募締切) 令和6年 11/22金 当日締め付け

筑後川流域には、魅力がいっぱい! 筑後川流域には多くの川の駅があり、川の駅に行けば、初めての人でも、筑後川流域のすてきな情緒を感じることができ、地元ならではの土産・特産品や、筑後川の水で育てられたての野菜、そこでしか味わえないご当地グルメなどがあふれています。そんな魅力ある「川の駅」でもと楽しみてほしいのではないでしょうか?

抽選で「筑後川ブランド大会」に出品された豪華賞品が合計100名様に当たる!

下流域のめぐみ

- くろぐま
- 筑後食品カボチャ 元祖黒糖
- コーヒータンクランチ

中流域のめぐみ

- お茶畑茶
- エミユウチーメン
- 長島のココアスター

上流域のめぐみ

- 久保米ラーメン
- からし湯(ゆづ)
- ハンバーグソース
- 肉焼酎 ドラッキング
- 黒米甘酒ソフト

※商品には種類別のものと多量な在庫確保がありますのでご了承ください。※賞品の数量はもって当該の売場に限りさせていただきます。

プレゼントへの応募は福岡都市圏にお住まいの方に限ります。

※福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、古賀市、小戸町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮村、久山町、粕屋町、宗像市、糸島市

応募の手順

- 手順①** 「川の駅」をめぐる、スタンプを集めよう。
5箇所の川の駅を巡らう
- 手順②** スタンプが集まったらハガキを作ろう。
① ハガキ部分を切る
② 宛先に貼る
③ 1円切手を貼る
④ 〒にバリエイタにする
- 手順③** 切手を貼ってポストに投入!
※ハガキにスタンプ和紙部分を貼ってOK!

応募方法

「川の駅」で5個以上のスタンプを集めて、ハガキを右記まで郵送してください。
 ※スタンプがなくてもよい。ハガキ一枚だけでも可。

宛先

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1(福岡市役所内)
福岡都市圏広域行政事業組合
「川の駅」スタンプラリー企画室

主催：福岡都市圏広域行政事業組合 協力：筑後川流域連携推進部／川の駅事務所みなさき



(4) 実施結果

①川の駅・所在市町村ごとの人数

川の駅	市町村	人数	川の駅	市町村	人数	所在市町村	人数
①長者原ビジターセンター	九重	19人	②⑤観光プラザほとめく館	朝倉	142人	九重	83人
②九重夢大吊橋物産直売所	九重	28人	②⑥道の駅筑前みなみの里	筑前	177人	玖珠	115人
③九重ふるさと館	九重	36人	②⑦観光会館土蔵	うきは	108人	日田	303人
④道の駅童話の里くす	玖珠	58人	②⑧にじの耳納の里	うきは	160人	南小国	63人
⑤道の駅慈恩の滝くす	玖珠	57人	②⑨ほめ家	うきは	48人	小国	116人
⑥天の国プラザ	日田	31人	③⑩筑後川の駅しばかり	久留米	85人	東峰	91人
⑦夫婦滝・滝のおみやげ屋さん	南小国	23人	③⑪紅乙女 耳納蒸留所	久留米	61人	うきは	513人
⑧南小国町総合物産館きよらかサ	南小国	40人	③⑫八百屋カフェ 農と音(2号店)	久留米	26人	朝倉	659人
⑨道の駅「小国」ゆうステーション	小国	71人	③⑬道の駅くるめ	久留米	170人	筑前	177人
⑩小国サービスエリア風車	小国	45人	③⑭筑後川防災施設くるめウス	久留米	142人	久留米	617人
⑪しもうけ館	日田	17人	③⑮情熱開花くるめブーゲンの森	久留米	112人	大川	239人
⑫まつばら館	日田	30人	③⑯洪田瓦工場	久留米	21人	佐賀	119人
⑬おすそわけ野菜レストラン松原	日田	18人	③⑰大川市立清力美術館	大川	60人	大木	135人
⑭水辺の郷おみやげ	日田	87人	③⑱大川温泉貴肌美人 縁の湯	大川	79人	柳川	115人
⑮薫長酒蔵資料館	日田	57人	③⑲大川TERRAZZA	大川	100人	筑後	114人
⑯亀山亭ホテル	日田	32人	④⑩橋の駅ドロンパ	佐賀	119人	八女	29人
⑰山乃そば茶屋	日田	2人	④⑪道の駅おおき	大木	135人	福岡市	19人
⑱道の駅鯛生金山	日田	29人	④⑫(株)大東エンタープライズ	柳川	45人	不明	1人
⑲高取焼宗家	東峰	28人	④⑬柳川よかもん館	柳川	70人	合計	3,508人
⑳道の駅小石原	東峰	63人	④⑭川の駅船小屋恋はたる	筑後	114人		
㉑道の駅うきは	うきは	197人	④⑮八女人形会館	八女	29人		
㉒道の駅原鶴ファームステーションバサロ	朝倉	223人	★筑後川のめぐみフェスティバル	福岡市	19人		
㉓三連水車の里あさくら	朝倉	246人	不明	不明	1人		
㉔あまぎ水の文化村	朝倉	48人	合計(延べ)		3,508人		

※「不明」…スタンプが滲んでいて、どの川の駅かの判別がつかないもの

②年齢別応募状況

	人数	口数	訪問力所数
～6歳	33人	68口	345カ所
～12歳	123人	238口	1,216カ所
～15歳	5人	7口	40カ所
～18歳	4人	10口	51カ所
～30歳	6人	9口	47カ所
～50歳	88人	192口	988カ所
51歳～	74人	156口	816カ所
未記入	1人	1口	5カ所
合計	334人	681口	3,508カ所

③住所別応募状況

	人数	口数	訪問力所数
福岡市	165人	330口	1,707カ所
筑紫野市	26人	73口	366カ所
春日市	20人	37口	186カ所
大野城市	23人	50口	254カ所
太宰府市	20人	58口	291カ所
那珂川市	7人	17口	87カ所
古賀市	6人	9口	49カ所
糟屋郡宇美町	9人	15口	84カ所
糟屋郡篠栗町	2人	6口	30カ所
糟屋郡志免町	10人	19口	102カ所
糟屋郡須恵町	1人	3口	15カ所
糟屋郡新宮町	18人	29口	152カ所
糟屋郡久山町	2人	4口	20カ所
糟屋郡粕屋町	10人	12口	62カ所
宗像市	8人	8口	41カ所
福津市	2人	2口	13カ所
糸島市	5人	9口	49カ所
合計	334人	681口	3,508カ所

水源地公共研修施設利用助成

福岡都市圏在住者が、3名以上で筑後川水源地にある下記対象施設を利用する際に、利用額の一部を助成する制度です。

【助成人数実績】

○たかき清流館（福岡県朝倉市）：4名

○スノーピーク奥日田キャンプフィールド（大分県日田市）：6名

有明海クリーンアップ作戦

有明沿岸四県（福岡、佐賀、長崎、熊本）がひとつになって実施しており、地元の漁協関係者や、国、県、市の関係団体の方々と一緒に早朝から清掃活動を行いました。

○実施日／令和6年8月20日（火）
○場 所／福岡県柳川市 久間田漁港
○参加者／福岡都市圏市町等の職員 24名



筑後川河川美化「ノーポイ」運動

河川美化、愛護運動の一環として、筑後川流域自治体と国土交通省が一体となって推進している活動であり、早朝から清掃活動を行いました。

○実施日／令和6年10月27日（日）
○場 所／福岡県久留米市 筑後川河川敷
○参加者／福岡都市圏市町等の職員 21名



ひと山まるごとガーデニング

筑後川水源地域・下流域の住民と共に大山ダム水源林の下草刈りを行う「ひと山まるごとガーデニング」に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

○実施日／令和6年9月28日（土）
○場 所／大分県日田市大山町 大山ダム周辺



小石原川・佐田川ノーポイ運動

朝倉市にあり、都市圏の水源地である「寺内ダム」周辺の清掃活動に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

○実施日／令和6年11月26日（火）
○場 所／福岡県朝倉市 寺内ダム周辺



環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域（有明海含む）において、環境保全活動を行う非営利活動法人（16団体）に対して、環境対策支援補助金として、活動費の助成を行いました。

地 域		協議自治体等	補助金交付団体	活動内容（活動場所）
福岡都市圏		福岡都市圏各市町	福岡市水源林ボランティアの会	筑後川上流域の水源林保全活動と水源地域住民との交流活動（大分県日田市大山町）
			特定非営利活動法人はかた夢松原の会	新流域連携事業 2024（大分県日田市ほか筑後川流域） …福岡都市圏の住民を対象とした体験学習 「水の道を旅する」をテーマとした交流イベント・研修の実施
			環境探究学研究会 長濱研究室	持続的自然資源利用と管理のための研究と教育実践（筑後川流域） …学生向けの環境教育活動、筑後川流域でのフィールドワーク等
筑後川流域		筑後川河川事務所	筑後川まるごと博物館運営委員会	高良川子ども自然と環境体験活動（福岡県久留米市） …高良川河川敷での環境体験講座を5回実施
			エコアクト筑後川	筑後川エコアクトプログラム 2024「森と水と命のつながり」（福岡県久留米市・東峰村ほか） …河川での自然体験活動、森林・環境保全の意識向上のための学習会
			特定非営利活動法人筑後川流域連携倶楽部	水源地区久留米高良山地区環境保全活動（福岡県久留米市） …放置された竹林の整備など
			里山保全の会 東峰フラワーズ	間伐材を使用した木工体験会（福岡県東峰村）
有明海		佐賀県	特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット	有明海の環境保全にむけたシンポジウム・交流会の開催（佐賀県）
水源地域	寺内ダム・江川ダム	朝倉市	安川地区 小石原川を美しくする会	小石原川及び野鳥川の除草作業（福岡県朝倉市）
			甘木町「小石原川を守る会」	小石原川の高水敷の芝刈り・除草作業（福岡県朝倉市）
			グリーンウェイブ朝倉水源の森実行委員会	第12回グリーンウェイブ朝倉水源の森創り（福岡県朝倉市） …桜やドングリなどの植樹活動
			堀川的环境を守る会	第17回堀川クリーンアップ活動 …堀川周辺草刈及び清掃活動（福岡県朝倉市）
			下戸河内ダム対策協議会	水をつなぐ流域交流 in 下戸河内（福岡県朝倉市） …福岡都市圏住民と共に植樹・下草刈り・交流会の実施
	合所ダム	うきは市	つづら棚田を守る会	棚田の保全活動（福岡県うきは市）
			うきは市癒しの旅先案内人協会	森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動（福岡県うきは市）
	大山ダム	日田市	木林乃森を守るネットワーク	林業地植え植栽勉強会（大分県日田市前津江町） …若者を対象とした地植え体験の実施、林業の歴史を学ぶ学習会の実施

活動の様子



エコアクト筑後川



里山保全の会
東峰フラワーズ



堀川的环境を守る会



下戸河内ダム対策協議会

福岡都市圏「水」キャンペーン2024

国が定める水の週間（8月1日からの1週間）において、都市圏住民を対象に、都市圏の水事情の周知や筑後川の水のめぐみへの感謝等を啓発するため、都市圏各市町の街頭や庁舎内にてキャンペーンを実施しました。

(1) 街頭キャンペーン等

- ① 期間／令和6年8月1日（木）～7日（水）
- ② 場所／福岡都市圏内の駅施設、公共施設、商業施設等
- ③ 実施の様子

福岡市
(JR博多駅前広場)



筑紫野市・山神水道企業団
(JR二日市駅東口)



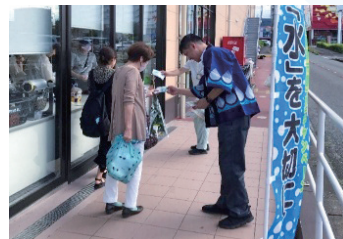
春日市・春日那珂川水道企業団
(西鉄春日原駅、JR春日駅)



大野城市
(イオン大野城ショッピングセンター)



太宰府市
(ルミエール太宰府店)



那珂川市・春日那珂川水道企業団
(JR博多南駅)



古賀市
(サンリブ古賀店)



宇美町
(宇美町役場)



篠栗町
(JR篠栗駅)



志免町
(ルミエール志免店)



須恵町
(トレードマート須恵店)



新宮町
(庁舎本館入口)



久山町
(トリアス久山)



粕屋町
(JR長者原駅、柚須駅)



宗像市・宗像地区事務組合
(JR赤間駅)



福津市・宗像地区事務組合
(JR福岡駅)



糸島市
(JR筑前原駅ほか)



(2) デジタルサイネージ

- ①放映期間／令和6年8月1日(木)～31日(土)
- ②放映場所／福岡都市圏内公共施設
民間施設のデジタルサイネージ

放映の様子(西鉄福岡駅)



(3) チラシデザイン



(表面)



(裏面)

ありがとう筑後川シール

「手洗い場」に啓発シールを貼ることで、水道を利用する多くの人の目に留め、筑後川のめぐみを都市圏住民に広く周知することを目的に令和4年度から実施しています。

(1) シールデザイン



(2) 貼付箇所

令和6年度は、We Love天神協議会や博多まちづくり推進協議会といったエリアマネジメント団体の協力を得て、各々の会員企業・団体のトイレ手洗い場に貼付しました。

※都市圏市町の公共施設・公立学校・福岡市営地下鉄・JR・西鉄各駅トイレの手洗い場には、令和4年度・5年度に貼付済み。

流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るために審議会を設置しています。

令和6年度審議会開催状況

第1回	令和6年6月19日	議 題 報 告 その他	令和6年度 令和5年度 令和5年度	環境対策支援補助金について 水源林整備促進支援事業の実施状況について 流域連携基金事業の実施状況について
第2回	令和6年12月24日	報 告 議 題	令和6年度 令和7年度	流域連携基金事業の実施状況について 流域連携基金事業(案)について

審議会委員

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職	任 期
会 長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	令和4年12月1日から 令和6年11月30日まで
副会長	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	
委 員	近藤 春生	西南学院大学経済学部 教授	
委 員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 営業本部 ビジネス開発部長	

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職	任 期
会 長	渡辺 亮一	福岡大学 工学部 教授	令和6年12月1日から 令和8年11月30日まで
副会長	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 営業本部 ビジネス開発部長	
委 員	近藤 春生	西南学院大学経済学部 教授	
委 員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	片平 幸子	一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟 連盟長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成 16 年 11 月 8 日 条例第 3 号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理) 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用) 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分) 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成 17 年 3 月 22 日 規則第 7 号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成 16 年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等) 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
(1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
(2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
(3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
(4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
(5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会) 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項) 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

筑後川にて

発行／令和7年3月 印刷／株式会社 西日本高速印刷